図書館整備への中間報告提出

令和2年1月28日に設置された総務文教常任委員会・産業民生常任委員会の連合審査会は6月29日に中間報告を提出した。

これまで6回の連合審査会を開催し、様々な観点から慎重に検討を行ってきた結果を踏まえ、伊達市立図書館の整備についての意見として集約し、中間報告を行った。

そのなかでは

・だて歴史の杜公園内での整備については妥当という意見が多かった。
・食育センターや他施設との動線を勘案すべきという意見が多かった。
・大規模改修または新設を求める意見が多く出された。

小久保議長は菊谷市長、影山教育長に対して「しっかりと予算をかけて良い図書館にして頂きたいとする意見が多数だった。議会としてはこの中間報告で終わりではなく、今後もこの計画に対して意見を述べる場を設け、より良い図書館に向けてかかわっていく」と述べ、菊谷市長は「まちなかにサテライトをという意見もあったと聞いている。さまざまな意見を参考に進めていきたい」と述べた。

新型コロナウイルス感染症対策について

次の会議で話し合われました。

★**第2回臨時会**　令和2年4月20日(月)

★**第3回臨時会**　令和2年5月29日(金)

★**危機管理対策調査特別委員会**　令和2年6月12日(金)

★**危機管理対策調査特別委員会**　令和2年6月29日(月)

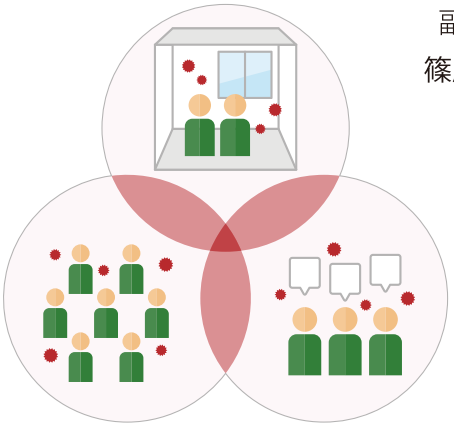
危機管理対策調査特別委員会

新型コロナウイルス感染症対策に限らず、近年頻発している自然災害への対応も含め調査を行い、市民の声を行政に届けるため委員会が設置された。

●委員会人事について

委員長
阿戸　孝之

副委員長
篠原　一寿



こんな質疑がありました。

●臨時コールセンター運営管理費について

質疑▼委託先・委託期間・予算内訳について。

答弁▼委託先については、伊達物産公社にお願いしており、期間については3カ月を予定している。予算の内訳は、コールセンターにかかる人件費が180万円、その他消耗品・電話代などが74万円となっている。

質疑▼新聞折り込みやホームページなどでも周知しているが、わかりづらく周知不足と感じる。

　今後の対応についての考えは。

答弁▼今後の周知に関しては、担当課と協議の上、改善していく。

質疑▼5月からカルチャーセンターで行っており、今後も同じ場所で考えているのか。

答弁▼今後は、申請などの受付、様々な相談に対応できるよう、宮尾登美子アートホールを改修し、コールセンターを開設していく。

●新生児臨時特別定額給付金について

質疑▼給付金の概要について。

答弁▼国が行っている特別定額給付金だが、基準日が4月27日となっている。

　4月28日以降から令和3年3月31日までに生まれた新生児に対しても、10万円を給付していく考えである。

質疑▼令和2年度に生まれてくる新生児はどのくらい想定されているのか。

答弁▼例年なみの170～180人と想定している。

●修学旅行・宿泊研修支援事業について

質疑▼修学旅行の行き先について。

答弁▼小学校は函館方面、中学校は東北地方を予定している。

質疑▼宿泊研修の予定について。

答弁▼9月以降で考えており小・中学校すべて大滝区北湯沢に行く予定となっている。

質疑▼コロナ禍での移動時の3密はどのように考えているのか。

答弁▼移動時でのバス台数を増やし3密対応を考えている。

●だてのまち応援券について

質疑▼販売期間が9月からとなっているが、早めることはできないのか。

答弁▼5月に入ってから伊達商工会議所プロジェクトチームで具体的な検討を行っており、印刷業者と調整をしたが、発注から納品まで2カ月かかる状況である。

topic 3 政務活動費の返還

新型コロナウイルスの感染が東京、札幌など都市部を中心に拡大し、4月7日には国による緊急事態宣言が発令される中、市内の事業者、特に春の歓送迎会の中止や営業自粛により売り上げが激減する飲食店への救済策を求め、議会としては市長部局と交渉を進めてまいりました。

そうした中で、議会としても削減できるところは削減して市の運営に協力していこうとする声が高まり、4月23日に会派代表者会議を開催し、今年度の政務活動費（議員ひとり当たり月1万円）を全議員全額返還することを決め、全議員の了解を得て、返還することにしました。

これにより今年度の公費による政務活動はありませんが、私費での活動を制限するものではありませんので、議員個人や会派ごとに独自の政務活動が計画されています。

topic 4 所管事務調査（産業民生常任委員会）

★産業民生常任委員会　令和2年4月20日㈪

●上下水道に関すること

- 伊達市水道事業経営戦略について（令和2年度～令和11年度）
- 伊達市大滝区簡易水道事業経営戦略について（令和2年度～令和11年度）
- 伊達市下水道ビジョンについて（令和2年度～令和11年度）

●環境及び衛生に関すること

令和2年6月25日㈭

- ごみ収集と市民サービスについて

いずれも、担当課から説明を受け、調査を行いました。

再編新設高等学校に対する支援等について

★予算決算常任委員会　令和2年6月16日㈫

令和3年4月より新たに開校する、伊達市内の新設高等学校について、担当課から説明を受け、調査を行いました。具体的な新設高等学校の教育内容等については、再編新設校準備委員会の委員長である、北海道伊達高等学校の柴田（しばた）　享（とおる）校長より説明を受けました。

●こんな質疑がありました

質疑▼教員人事については。

答弁▼新設校のスタートには、教員の力量が問われる。道教委に対しては、人的配置の充実について、強く要請している。他国の学校出身者など、海外生活経験のある教員等を積極的に活用したい。

質疑▼校舎の改修については。

答弁▼コロナの影響もあり、現時点でやや遅れているが、7月下旬くらいから外構工事も含め、校舎の改築を順次スタートさせる予定。

質疑▼資料に「外部専門家（アスリートや技術者など）から直接指導を受ける部活動の体験的講習会の実施」とあるが、強化したい部活などが想定されているのか。

答弁▼現時点でも成果を出している部活動も多く、当面はそれらをより充実させていきたい。

質疑▼学校の名称については。

答弁▼校名に関するアンケート内容を道教委に提出しており、9月末の委員会で検討され、10月の北海道議会にて決定する予定。卒業生の心情や思いも考慮し、校名を変えるのか変えないのかも含め検討している。

質疑▼240人の募集というのは厳しい数である。定員割れを起こさないための取り組みは。

答弁▼管内の全ての中学校や学習塾に出向き、丁寧な説明会を行っている。また、遠方からの生徒を受け入れるべく、交通機関の充実等の対応も考えている。

質疑▼もう、新規開校まで1年を切っている状況で、中3生徒も進路の選択が迫られている。具体的な偏差値や進学先大学名など、進路選択の参考になる、見える情報が必要ではないか。

答弁▼しっかりと対応する。

再編新設校の場所は、現在の伊達高校です

topic 6 西胆振行政事務組合議会

★第1回定例会　令和2年3月26日㈭

●議案は、「西胆振行政事務組合職員の服務の宣誓に関する条例の一部を改正する条例」「令和元年度西胆振行政事務組合一般会計補正予算」「令和2年度西胆振行政事務組合一般会計予算」であり、これらについて原案どおり可決した。

また、第1回総務常任委員会では「令和元年火災発生状況及び救急救助出動状況報告」「行政視察」についての報告があった。

★臨時会　令和2年6月3日㈬

●議案は「財産の取得」（伊達多機能型積載車2台・伊達高規格救急自動車）であり、原案通り可決した。

また、第2回総務常任委員会では「行政視察の中止」「令和2年5月24日の山岳捜索の報告」について報告があった。

洞口雅章・大光　力・田中秀幸

topic 7 西いぶり広域連合議会

★総務常任委員会　令和2年6月5日㈮

●広域連合の運営に関する事項

1　新中間処理施設建設に向けた現施設検証委員会報告書について

2　新中間処理施設整備・運営事業に係る事業者選定の進捗状況について

3　粗大鉄ヤード内の火災について

4　洞爺湖町との共同電算事務参加に向けた協議について

5　共同電算システム用機器の更新について

阿戸孝之・阿部正明・小久保重孝

※この総務常任委員会では、現施設検証委員会報告書がようやく示されました。

これは議会からの求めに応じて検証委員会が設置され、新施設では「同じ轍を踏まない」とする決意のためにも検証が必要と訴えてきたものです。

報告書が示す教訓は、専門家による知見にも限界があることを踏まえ、実績のない最新技術には十分に注意することや、行政も議会も他自治体の事例などを調査して、住民の不利益を招かないようしっかりとチェックをすることでした。新施設に向けてこの教訓を活かしていきたいと思います。

意見書

※意見書とは…
①各団体から提出された意見書案は会派ごとに審査
②議会運営委員会で協議
③3分の2以上の会派の同意により本会議に提出
④提出された意見書案が過半数の議員の賛成により可決
⑤伊達市議会の機関意思として国・道の各機関へ提出
※国の関係機関とは⇒内閣総理大臣、衆議院議長・参議院議長、各担当大臣など

議会運営委員会を6月23日に開催し、意見書の取り扱いについて審査を行った。
各団体から提出された意見書は6件で、審査の結果は下記のとおり。
※各意見書の詳しい内容については伊達市HPをご覧ください。

《議会運営委員会での賛否一覧》

本会議への上程の可否	件名	提出依頼者	令和みらい	自民クラブ	公明党
○	林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書	北海道森林・林業・林産業活性化促進議員連盟連絡会	○	○	○
○	地方財政の充実・強化を求める意見書	連合北海道伊達地区連合会	○	○	○
○	「子どもの貧困」解消など教育予算確保・拡充と就学保障、義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、教職員の超勤・多忙化解消・「30人以下学級」の実現に向けた意見書		○	○	○
○	2020年度北海道最低賃金改正等に関する意見書		○	○	○
×	新型コロナウイルス感染症拡大に対処する持続化給付金業務委託の解明を求める意見書	日本共産党伊達市委員会	×	×	×
×	コロナ禍のもと米海兵隊移転訓練中止を求める意見書		×	×	×

○⇒可　×⇒否